

相愛大学

研究論集

The Annual Research Report
of Soai University

2016

第32卷

前巻 (第 31 卷)

原著、報文

(論 文)

ハナビラタケ子実体および脂質成分の腸内菌叢への影響 …………… 庄條 愛子・古郷 加奈
山本(合田)麗奈・小林貴美子
中 崇・藤原 永年
北村 進一・水野 淨子

壮中年期男性における 3 回の随時採取尿から算出した

食塩およびカリウム摂取量と食習慣との関係 …………… 角谷 勲・多門 隆子
堀野 成代・佐藤 眞一
庄條 愛子・水野 淨子
竹山 育子・杉山 文
太田 美穂・宮谷 秀一

言語教育と地域語との関係に関する比較史的考察 …………… 長谷川精一・越水 雄二
北澤 義之

報 告

多様な学生に対応した実習指導室の役割

——教職員の「協働」による効果的な実習指導方法の検討—— …………… 曲田 映世・中西 利恵
石沢 順子

彙 報

相愛大学総合研究センター活動報告

平成 26 年度 科学研究費補助金一覧

平成 26 年度 外部団体よりの受託研究、共同研究及び教育研究奨励寄付金

「相愛大学研究論集」編集内規

平成 24 年 7 月 13 日相愛大学総合研究センター運営委員会制定
平成 27 年 6 月 24 日一部改正

(投稿資格)

第 1 条 相愛大学研究論集（以下「論集」という。）の投稿資格は次のいずれかの者とする。

- (1) 相愛大学（以下「本学」という。）の専任教員及び名誉教授。
- (2) 本学での研究活動にかかわったと、編集委員会が認めた者。

(投稿条件)

第 2 条 他の学会誌などに掲載されていないものであり、なおかつ投稿中でないものに限る。また、単著者及び、筆頭著者の場合は原則として一人一点に限る。

- 2 投稿は、単著・共著を問わない。
- 3 前項の共著者が学外の者である場合は、共同研究者として、編集委員会の承認を得る必要がある。
- 4 「人を対象とした研究」の内容を含む投稿に関しては、本学または他の機関での承認を得たものに限る。

(刊行回数・体裁)

第 3 条 毎年度 1 回、3 月末刊行する。

- 2 版型は B5 にする。

(原稿の採否)

第 4 条 原稿の採否は、編集委員会が査読等を行い決定する。

(著作権)

第 5 条 研究論集の著作権は原則として本学が有する。ただし、個々の論文等の著作権は、それぞれの著者が有する。

(論文の電子配信)

第 6 条 本誌に掲載された論文は本学リポジトリにおける公開を許諾するものとする。ただし、著作権法上の事情により許諾できない場合は、投稿時にその旨を申し出ること。

(抜刷等)

第 7 条 抜刷が必要な場合は、あらかじめ申し出があれば実費でこれに応じる。

(投稿基準)

第 8 条 投稿基準・原稿の体裁・書式他は、別に定める。

- 2 投稿基準に合わないものは、採用しない。

(内規の改廃)

第 9 条 この内規の改廃は、総合研究センター運営委員会が行う。

附 則

この規定は、平成 24 年 7 月 19 日から施行する。

附 則

この規定は、平成 26 年 6 月 12 日から施行する。

附 則

この規定は、平成 27 年 6 月 24 日から施行する。

「相愛大学研究論集」投稿基準

平成 24 年 7 月 13 日制定

平成 27 年 6 月 24 日一部改正

1. 執筆要領

- (1) 原稿は、原則としてワープロ原稿による投稿とし、コピーを1部添えて、電子データで提出する。
- (2) 外国語（英語）の場合は30枚（ダブルスペース）以内とする。なお、図・表は原則1枚300字相当として扱う。
- (3) 完全原稿とし校正の際は字句の訂正にとどめ、大幅な加筆、変更は一切認めない。
- (4) 原稿には、タイトル及び執筆者名を日本語と英語で付記する。表題が外国語（英語）である場合には日本語の表題を付記するものとする。
- (5) 写真は白黒印刷を原則とする。
- (6) 投稿原稿は、次のとおり区分する。また、区分内容の原稿量については、別表のとおりとする。
 - (ア) 査読を行う原稿：総説、原著論文、研究ノート（研究報告、研究速報など）
 - (イ) 閲読を行う原稿：資料、事業報告、実践報告、翻刻、翻訳、注釈、総合論文紹介、研究論文紹介、文献紹介、トピックス、論壇、研究動向、講座、書評など
 - (ウ) 編集委員会が依頼する原稿：特集

2. 書式

- (1) 横書き、縦書きは、あらかじめ執筆者が申し出ること。
- (2) 書式の細部については編集委員会と相談し、最終的には編集委員会の指示に従うものとする。

3. 原稿提出先、原稿提出締め切り日

- (1) 原稿は、相愛大学「研究論集」受付票と共に提出する。
- (2) 原稿は、教学課相愛大学総合研究センター担当事務職員に提出する。
- (3) 原稿提出期間は、その年度の9月1日～9月末日とする。

附 則

この基準は、平成 24 年 7 月 19 日から施行する。

附 則

この基準は平成 26 年 6 月 12 日から施行する。

附 則

この基準は平成 27 年 6 月 24 日から施行する。

(別表) 投稿原稿の区分等

区分	内容等	原稿量 (要旨、図表を含む)
1. 査読を行う原稿		
総説 (Review Articles)	ある研究分野(専門領域)の特定の主題について、これまでの知見や最近の進歩などを概説的に述べたもの(研究業績の総括)。内容によりミニレビューも含む。	10 ページ以内 7 ページ以内
原著論文 (Original Articles)	・独創性・新規性を有し、価値ある知見や事実を含むもの。 ・研究の目的が明確で、その研究目的に合致した結論が得られ、本学の研究の発展に寄与できるもの。	13 ページ以内 (20,000 字以内)
研究ノート(研究報告、研究速報など) (Brief Report)	・限定された部分の発見や、新たな研究方法(調査・実験など)を含む内容あるいは問題提起的内容をもつものをいう。原著論文にはまとまらないが報告に値するもの。	8 ページ以内
2. 閲読を行う原稿		
資料(Research & Field work/note)	著者の主観をささない研究成果、統計資料等で、記録にとどめる価値のある資料や情報を含むもの。	5 ページ以内
事業報告	本学における事業活動をまとめたもの。	7 ページ以内
実践報告	専門分野における実践活動をまとめたもの。 分野により事例報告も含む。	5 ページ以内
翻刻	写本や版本などの原資料の文字を解読し、活字体に置き換えたもの。	13 ページ以内
翻訳	外国語で書かれた文学作品・論文などを日本語に置き換えたもの。	13 ページ以内
注釈	そのままでは、意味を理解しにくい古典作品等について、読解の助けとなるような注を本文に付し、必要に応じて現代語訳なども行ったもの。	13 ページ以内
総合論文紹介	著者の複数の原著論文の内容をまとめたもの。	10 ページ以内
研究論文紹介	国内外の欧文誌(研究論集を除く)に概ね2年以内に発表された著者自身の原著(投稿時に添付すること)を要約したもの。	2 ページ以内
文献紹介	国内外の新しい研究・調査論文ならびに新出資料等で紹介に値するもの。	1 ページ
トピックス	国内外の最近の重要な知見を簡潔にまとめて紹介するもの。	2 ページ以内
論壇	各学問領域において、新しい概念を提起しうる内容を含むものとする。専門分野に関する提言、情報紹介、技術考案など。	1~2 ページ
研究動向	専門分野のトピックスや海外事情などの紹介	1~2 ページ
講座	理論、技術等の解説を行うもの。	10 ページ以内
書評	学術書、専門書などの評論	1 ページ
3. 編集委員会が依頼する原稿		
特集	テーマ別特集や記念特集号などの原稿	適宜

●全体の留意点

①原稿の入力

1 頁 42 字×36 行(1,500 字程度)とする。

②論文、研究ノートは、必ず 400 字程度の要約をつけること。

5 個のキーワードと英文タイトルが必要である。

③原稿の言語

原則として和文とする。ただし、表、図、写真の説明はこの限りでない。

英文を用いる必要がある場合はこれを認めるが、英文校閲料などの費用は投稿者の負担とする。英文論文は、あらかじめ専門家に校閲を受けた後に投稿することとし、校閲記録を添付する。

④論文について

「新しい価値ある知見」が得られていると認められるもので、当該投稿論文以前に、既に本研究誌、ならびに学会等で論文として公表されている手法を用いて、同じような対象に対して実験・調査等を実施し、既に報告されている内容と同様の結論しか得られなかった場合には、論文として認められないことを意味する。